



ロータリーは
機会の扉を開く

和歌山西ロータリークラブ
2020-21 年度会長 中條剛司

静かな潮流『ロータリーの心』を波動に変えて

年の初めに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

私の年度の上半期は、新型コロナウイルスの脅威をひしひし感じる苦しい状況でしたが、『ロータリーの心』を実感した6ヶ月間でもありました。

【例会をどのように安心安全に運営すれば良いのか】また、市内会長幹事会のホストクラブとして、【密を回避して恒例行事にいかに対応して行けば良いのか】等々、石塚幹事と常に相談しながら、一つひとつ最良の方法を模索して実行して参りました結果、おかげさまでそれぞれの例会や行事を無事に終えることができました。例会場「ラヴィーナ和歌山」並びにカフェ例会場「レストラン*サンクシェール」の関係各位のご尽力と、各行事に携わって下さった関係各位のご努力に心から感謝申し上げます。

そして、どのような局面に際しても、会員皆様のご理解とご協力が心強い味方となり、会長幹事を後押ししてくれました。私たちの心に流れる《静かな潮流》が一つにまとまり、《大きな波動》を起こしてくれたのです。誠に有難うございました。下半期も新型コロナウイルスの収束は難しい状況ではありますが、《静かな潮流を波動に変えて》元気に乗り切って参りたいと思います。

更なるご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。